

平成26年度 第2回伊賀市健康づくり推進協議会 会議録

日 時	平成27年3月26日（木） 午後1時30分～3時
場 所	ハイトピア伊賀4階 多目的室
出 席 者	竹澤会長・服部（明）副会長・赤堀委員・松寄委員・桃谷委員・上山委員・山口委員・福平委員・中本委員
欠席者	（欠席委員）服部（明伸）委員・中山（英起）委員・若島委員・中山（治）委員・永田委員・川端委員・林委員
事 務 局	健康推進課
傍聴者	なし
会議の公開	公 開

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 健康21（第2次）計画 平成26年度進捗状況について

【事務局】 資料1に基づき説明（(1) 栄養と食生活）

【福平委員】 食物アレルギーがある児童について。家庭との連絡を間違えたなどの理由で誤って提供してしまった事例もあるようです。給食について、保護者の方との連絡やアレルギー児の調査などはしているのでしょうか。

【事務局】 小学校、中学校の給食に関しては、学校教育課が調査をされて給食を提供していると思います。

【上山委員】 アレルギーに関して重要な食品に7品目があり、それに関連したもので20品目あります。食品衛生協会では、講習の切り替え時に指導を行っています。栄養士や調理師の講習の切り替えの時には指導を行うことができると思います。アレルギーについては、保護者と学校の連絡を密にしていきたいと思います。

【福平委員】 担任が変わるなど教員が入れ替わる時に、適切に申し送りできるようにしていきたいです。

【事務局】 学校や保育園に、健康推進課からも啓発をしていけるようにしたいと思います。

【福平委員】 No.16の配食サービス事業について。どこで作ってどのように提供しているのですか。

【事務局】 配食サービス事業は、介護高齢福祉課が担当しています。業者委託をされていて、朝・昼・夜で希望者に配食しています。対象者は独居老人の方や、高齢者世帯の方です。

【福平委員】 何社に委託していますか。希望者はどこで申請できるのですか。全市的ですか？

【事務局】 業者は1社です。介護高齢福祉課で受け付けています。全市的に配食しています。1食400円です。

【上山委員】 社会福祉協議会とは別のものですか。

【山口委員】 別のものです。

【事務局】 (2) 身体活動・運動について説明

【赤堀委員】 No. 19の介護予防一次事業について。介護予防リーダーは何名まで増やす予定ですか。リーダーを中心にサロンなど地域で活動してもらおうということですか。

【事務局】 何名までという数値目標はありません。地域において、介護予防リーダーの方を中心に活動していただきたいと思います。

【竹澤会長】 特別な資格などは必要ないのでしょうか。

【事務局】 特別な資格はいりません。介護予防リーダー養成講座の終了証はです。

【服部副会長】 身体活動に関する予防活動について。私自身、毎週健康ステーションでエアロバイクを使った筋力トレーニングや血圧測定、体力年齢測定を行っています。体力づくり、仲間づくりの面でも効果があると感じています。伊賀市の健康器具や施設をもっと広くアピールしていく方がよいと思います。

【桃谷委員】 私は音楽療法士をしていて、いきいきサロンに行っています。今までは4回であったのが2回になりました。予算や経費のこともありますが、好評だったので回数を増やすことができるとA評価になるのではないのでしょうか。

【事務局】 担当課に伝えます。

【事務局】 (3) こころの健康・休養について説明

【松寄委員】 No. 25の高齢者いきがい事業とNo. 26の家族介護支援事業について。E,F評価と評価が悪いにも関わらず、平成28年度目標はよりあがっています。何か具体策があるのですか。

【事務局】 積極的に利用人数を上げるというより、その場所へ出てきてもらうことを目的にすすめていきたいと思っています。PR不足、事業自体の見直しについても担当課と話をします。

【赤堀委員】 どこにどれだけの健康器具があるのですか。故障してしまっているところもあると聞いています。

【山口委員】 社会福祉協議会にはヘルストロンとマッサージ器を持っていますが、利用する人が固定してきています。介護予防サロンのように開放的にしていけないと思います。

【服部副会長】 どこに何があって何時から何時まで利用できるかなど、情報が行き渡っていないのではないのでしょうか。器具の点検も必要だと思います。

【竹澤会長】 今年の自殺者は何名でしょうか。

【事務局】 今年的人数はまだ出ていません。ここ数年、伊賀市の自殺者は増減を繰り返しており、大きく変わりはないかとおもいます。

【竹澤会長】 高齢者の自殺も含めて何か対策ができればと思います。

【事務局】 (4) 歯の健康について説明

【竹澤会長】 フッ素塗布についてはどうなっていますか。

【事務局】 歯科医師会の協力を得て、数箇所の保育園においてモデル的にフッ化物洗口を実施しています。フッ素については、予防効果と健康被害の意見があるので、統計をとって情報がまとまってから広めていくということになると思います。

【竹澤会長】 無料歯科健診の受診率が8パーセントと低いのはなぜですか。

【事務局】 歯科医へ行くのは健診ではなく、治療目的で行くという意識の方が多いようです。後の意識調査の結果の中でも説明します。

【事務局】 (5) たばこについて説明

【竹澤会長】 市役所は敷地内禁煙ではないのですか。全面禁煙にはなりませんか。

【事務局】 喫煙室を設置しています。

【上山委員】 吸う人にとっては、やりすぎではないかと思うこともあります。

【事務局】 (6) アルコールについて説明

【竹澤会長】 アルコール依存症について市への相談はありますか。

【事務局】 アルコールがもとで問題が起こっているケースの相談が、地域包括支援センターや障がい福祉課などにもあります。

【竹澤会長】 そういう方は、どのように病院に紹介しているのですか。

【事務局】 肝障害など身体的な問題がでてくれば病院の治療に結びつけることができますが、アルコールをやめる意思のない人を、こころの医療センターにあるアルコール外来などにつなげるのは難しいです。いろいろな課が関わって、経済面の問題や、家族を含めた支援が必要となってきます。深刻な問題です。

【事務局】 (7) 健康診査（二次予防）について説明

【竹澤会長】 特定健康診査の実施期間ですが、現在7月から11月の実施のところを7月から10月の実施へ変更はできませんか。インフルエンザの予防接種の時期と重なると外来が回らなくなってしまいます。1ヶ月早めても受診率が変わらないのであれば、10月までにしてほしいです。

【事務局】 受診券の発行など準備の都合もありますので、担当課と相談します。

【事務局】 (8) その他健康づくり関連事業について説明

【服部副会長】 ノルディックウォーキングなど、資格・検定などもある種目もあります。地域でまとまって行うグランドゴルフは、心の健康づくりという意味でも長続きする人も多いようです。スポーツ振興課とも協力してすすめてはどうでしょうか。

【事務局】 ご自身にあった運動を選んで続けていただけるように紹介していきたいと思います。

【赤堀委員】 No. 1 特定不妊治療費助成事業について。今年度の人数が50名なのに、平成28年度目標が20名となっているのはなぜでしょうか。

【事務局】 3年前にたてた計画なので、矛盾が生じてしまっています。不妊治療の種類も増え、所得制限が緩和されるなど制度にも変化がありました。不妊治療の申請は年々増えています。平成28年度目標について見直しができたらと思います。

【赤堀委員】 県でも不育症などにも取り組んでいます。今後も増やしていただきたいです。

(2) 健康21（第2次）計画「健康に関する市民意識調査」について

【事務局】 伊賀市「健康に関する市民意識調査結果報告書」について説明。

【服部副会長】 アンケートの年齢区分が「70歳以上」となっていますが、ひとくくりに

するのでなく、高齢社会も意識した設問にしていきたい。

【福平委員】 結果の公表はしますか。

【事務局】 意識調査は、事業計画を見直すためのものですが、アンケートの結果はホームページなどで公表したいと思います。

【事務局】 事業計画の指標の見直しをしてもよいでしょうか。

【竹澤会長】 見直しをするには、よい時期ではないでしょうか。